

入間川流域緊急治水対策プロジェクト

～多重防御治水の推進～

- 令和元年10月台風第19号により、甚大な被害が発生した、入間川流域において、国、県、市町が連携し、「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」として取りまとめました。
- 国、県、市町が連携し、以下の取組を実施していくことで、社会経済被害の最小化を目指します。

①多重防御治水の推進【河道・流域における対策】

②減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

■河道・流域における対策

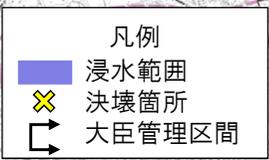
全体事業費 約 318 億円
 災害復旧 約 21 億円
 改良復旧 約 298 億円
 事業期間 令和元年度～令和6年度
 目標 台風第19号洪水における入間川、越辺川、都幾川からの越水防止
 対策内容 河道掘削、樹木伐採、遊水地、堤防整備 等

■河道・流域における対策

【土地利用・住まい方の工夫】
 ・浸水が想定される区域の土地利用制限（災害危険区域の設定）
 ・家屋移転、住宅の嵩上げ（防災集団移転促進事業等）
 ・高台整備（避難場所等に活用）
 ・土地利用に応じた内水対策の検討（雨水流出抑制対策、合流点処理検討等） 等

■ソフト施策

・自治体との光ケーブルの接続
 ・越水・決壊を検知する機器の開発・整備
 ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
 ・台風第19号の課題を受けたタイムラインの改善
 ・他機関・民間施設を含めた避難場所の確保
 ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
 ・広域避難計画の策定
 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 ・水のう等、水防活動資材の確保
 ・緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施、排水ポンプ車の配備
 ・防災メール等を活用した情報発信の強化
 ・防災行政無線の戸別受信機整備 等



※今後の調査・検討等により追加・変更がある。
 ※合流点処理検討については、本川合流点付近においての本川への流出抑制や支川の越水溢水軽減、支川流域内の内水浸水の軽減を兼ね、遊水地や排水機場等を組み合わせた対策を検討するものです。

